



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	124,109	11.4	15,607	25.9	15,753	21.5	10,102	20.1
29年3月期第3四半期	111,422	△7.4	12,392	4.5	12,966	6.1	8,414	7.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 15,276百万円(116.9%) 29年3月期第3四半期 7,044百万円(3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	88.68	88.31
29年3月期第3四半期	73.93	73.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	199,656	131,119	65.2
29年3月期	181,543	118,436	64.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 130,125百万円 29年3月期 117,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.7	16,800	8.7	16,900	5.9	10,500	4.9	92.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	117,936,284株	29年3月期	117,936,284株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	4,018,809株	29年3月期	4,021,078株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	113,917,259株	29年3月期3Q	113,815,171株

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託の保有する当社株式数(期末自己株式数 29年3月期 2,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、人手不足の深刻化や米国政権による不安定な政策運営、朝鮮半島情勢の地政学的リスクなど懸念材料もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,241億9百万円（前年同期比 11.4%増）となりました。日本においては、高付加価値品が好調なことに加え気温の低下とともに保湿系商品も順調に推移いたしました。さらに、インバウンド需要も寄与しております。海外においてもアジアでの回復傾向が継続しており、アメリカやヨーロッパも増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、新規分野への先行投資が継続しているものの、売上が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は156億7百万円（同 25.9%増）、経常利益は157億5千3百万円（同 21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101億2百万円（同 20.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、793億5百万円（前年同期比 10.2%増）となりました。

主力のアイケア関連品は、高機能眼科用薬「Vロートプレミアム」や新製品の「Vロートアクティブプレミアム」が堅調に推移しております。スキンケア関連品につきましても、高付加価値の「肌ラボ極潤プレミアム」や「オバジC 酵素洗顔パウダー」などが好調なことに加え、高保湿リップクリーム「メンソレータム メルティクリームリップ」や心やすらぐ香りのかゆみ治療薬「メンソレータムADボタニカル」など新製品も増収に寄与いたしました。さらに「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要も好調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が堅調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、103億1千3百万円（同 27.5%増）となりました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、55億1千3百万円（前年同期比 14.9%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により拡大基調を続けており、主力のリップクリームも回復傾向となりました。目薬についても「ロートアイズ」に加え「ロートドライエイド」の発売もあり堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、5千3百万円（前年同期のセグメント損失は1億7千7百万円）となりました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、62億2千1百万円（前年同期比 16.7%増）となりました。

売上につきましては、ダクス・コスメティクス社が2ケタ増収となったことに加え主力の消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが新製品の発売もあり堅調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより3億5千9百万円（同 10.2%増）となりました。

#### (アジア)

外部顧客への売上高は、314億2千9百万円（前年同期比 12.9%増）となりました。

売上につきましては、中国において市況が回復してきたことに加えベトナムなどASEAN諸国も堅調に推移いたしました。特に、主力の目薬や肌ラボが増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が回復してきたことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、45億7千万円（同 11.8%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、16億3千9百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、1億5千1百万円（同 85.0%増）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,996億5千6百万円となり、前連結会計年度末より181億1千3百万円増加いたしました。これは、投資有価証券が80億8千4百万円、現金及び預金が37億8千7百万円、電子記録債権が23億7千万円、原材料及び貯蔵品が21億8千3百万円、商品及び製品が13億2百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は685億3千6百万円となり、前連結会計年度末より54億2千9百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が32億1千9百万円、短期借入金が9億6千6百万円、債務保証損失引当金が2億9千5百万円、電子記録債務が2億6百万円それぞれ増加した一方、賞与引当金が10億5千3百万円、未払費用が7億3千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,311億1千9百万円となり、前連結会計年度末より126億8千3百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が72億4千8百万円、その他有価証券評価差額金が38億5千6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月2日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,924	27,712
受取手形及び売掛金	36,061	36,165
電子記録債権	10,524	12,894
商品及び製品	13,946	15,249
仕掛品	2,391	2,556
原材料及び貯蔵品	7,272	9,455
その他	7,316	8,249
貸倒引当金	△489	△570
流動資産合計	100,948	111,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,206	20,584
その他（純額）	25,628	25,932
有形固定資産合計	45,834	46,517
無形固定資産		
のれん	735	664
その他	1,927	1,733
無形固定資産合計	2,663	2,397
投資その他の資産		
投資有価証券	27,502	35,587
その他	6,879	5,948
貸倒引当金	△2,284	△2,506
投資その他の資産合計	32,096	39,029
固定資産合計	80,594	87,944
資産合計	181,543	199,656
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,593	12,813
電子記録債務	2,558	2,764
短期借入金	3,353	4,320
未払費用	23,734	22,995
未払法人税等	2,551	2,732
賞与引当金	2,092	1,038
役員賞与引当金	30	22
返品調整引当金	750	850
売上割戻引当金	2,380	2,350
その他	6,378	7,326
流動負債合計	53,422	57,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,765	1,746
退職給付に係る負債	4,410	3,959
債務保証損失引当金	789	1,084
その他	2,720	4,532
固定負債合計	9,684	11,323
<b>負債合計</b>	<b>63,107</b>	<b>68,536</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,415	6,415
資本剰余金	5,737	5,737
利益剰余金	106,302	113,551
自己株式	△4,938	△4,935
株主資本合計	113,517	120,769
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,862	9,718
為替換算調整勘定	△439	1,068
退職給付に係る調整累計額	△1,498	△1,431
その他の包括利益累計額合計	3,924	9,355
新株予約権	560	560
非支配株主持分	434	433
純資産合計	118,436	131,119
<b>負債純資産合計</b>	<b>181,543</b>	<b>199,656</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	111,422	124,109
売上原価	46,080	51,487
売上総利益	65,342	72,622
返品調整引当金繰入額	60	100
差引売上総利益	65,282	72,522
販売費及び一般管理費	52,889	56,915
営業利益	12,392	15,607
営業外収益		
受取利息	136	178
受取配当金	499	313
その他	335	257
営業外収益合計	972	748
営業外費用		
支払利息	99	101
持分法による投資損失	82	370
その他	215	130
営業外費用合計	397	602
経常利益	12,966	15,753
特別利益		
投資有価証券売却益	220	—
特別利益合計	220	—
特別損失		
固定資産除却損	136	—
投資有価証券評価損	385	2
関係会社株式評価損	6	0
貸倒引当金繰入額	440	240
関係会社貸倒引当金繰入額	3	3
債務保証損失引当金繰入額	—	295
特別損失合計	970	540
税金等調整前四半期純利益	12,216	15,212
法人税等	3,798	5,109
四半期純利益	8,417	10,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,414	10,102



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	8,417	10,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	990	3,813
為替換算調整勘定	△2,231	1,238
退職給付に係る調整額	128	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△261	54
その他の包括利益合計	△1,373	5,173
四半期包括利益	7,044	15,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,114	15,277
非支配株主に係る四半期包括利益	△70	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	71,975	4,800	5,329	27,846	109,951	1,470	111,422	—	111,422
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,662	998	1	2,264	4,927	29	4,956	△4,956	—
計	73,637	5,799	5,330	30,110	114,878	1,500	116,378	△4,956	111,422
セグメント利益 又は損失(△)	8,087	△177	326	4,088	12,325	81	12,407	△15	12,392

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額△15百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	79,305	5,513	6,221	31,429	122,470	1,639	124,109	—	124,109
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,904	1,046	15	2,213	5,179	60	5,240	△5,240	—
計	81,209	6,559	6,236	33,643	127,650	1,700	129,350	△5,240	124,109
セグメント利益	10,313	53	359	4,570	15,296	151	15,447	159	15,607

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額159百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。